



学年の様子など、ホームページもご覧ください。 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kurosuda/>



そっせんすいはん 率先垂範

副校長 中里 充



「し～ん」と静まり返ったアリーナ。
そこにまっすぐ整列して坐る3本の列。
背筋をぴーんと伸ばし、正面に顔を上げて黙って待つ姿。
黒須田小学校のリーダーである6年生の姿でした。
5年生が後に続き、他の学年の子どもたちも
静かにアリーナに入り、担任の号令で整列しました。

6月15日(木)の朝(プール開き朝会)は、こうして始まりました。アリーナに全校児童がそろったのは3年ぶりです。もちろん私が着任して以来、全校児童がアリーナに集まるのは初めての事です。前任校に比べて広いとはいえ、全校児童563名がアリーナに集まるのが久しぶりであることと、3年生以下がその経験をしていないことを考えると、落ち着かなかったり騒々しくなったりするのではないかと心配していました。

しかしその不安を払拭させたのは、6年生の行動でした。正に『率先垂範』。朝会に臨む6年生のすばらしい態度が、他の学年の子どもたちに伝わっていきました。

種明かしをします。プール開き朝会の前の週に、6年生の学年朝会で私が話をする機会を得て話したのが『率先垂範』です。

「感謝とお願いの二つのこと・・・。」と始めました。最高学年になってから、新年度準備や委員会活動では学校のためにと頑張っている6年生。朝や休み時間、給食の後片づけや掃除などでは1年生とやさしく交流しながら、学校生活について教えたり支えたりしていました。その頑張りやさしさに「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えました。次にお願いは「下級生の手本になって、黒須田小学校のリーダーになろうと頑張っている皆さんに、覚えてほしい言葉があります。『率先垂範』、人の先に立って行動し、模範を示すという意味です。真のリーダーになるためにも大切なことで、皆さんならきっとできますよ。」と。今回の種を明かしましたが、実際に行動したのは6年生です。6年生の立派な態度がその場の空気を作り上げたのです。そして5年生が続けました。この行動を賞賛して強化するとともに、その意識と意欲が持続できるよう支援していきます。

また6年生だけでなく、体力テストの補助やフレンドクリーンタイムや学校探検等々、異学年交流の中で上の学年が下の学年の子たちの手本となったり、やさしく教えたりする場面が増えてきました。コロナ前の子ども同士の交流の様子に戻りつつあります。

我々教職員も子どもたちの前で範を示し、一丸となって教育活動に取り組んで参ります。